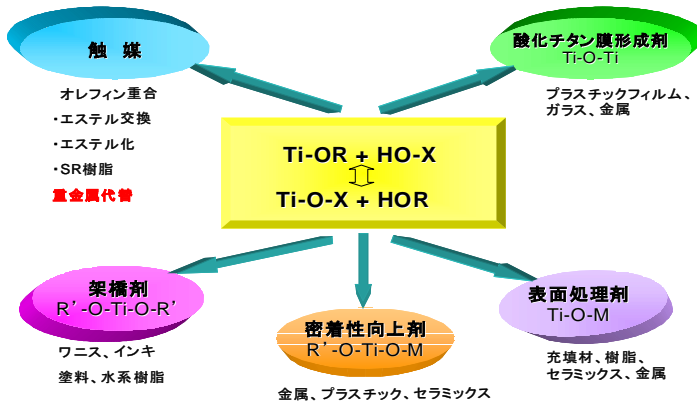


# オルガチックスレポート

(旧称：マツモトメールマガジン)



オルガチックスの用途モデル

## 第6号「PVA架橋剤 (その2)」

オルガチックスレポート (OR) は、マツモトファインケミカルの主力商品である” **オルガチックス** ”を、様々な角度からご紹介するメルマガです。

前号に引き続き、「ポリビニルアルコール用架橋剤」をご紹介致します。今回は、オルガチックス水系シリーズによる製品毎の物性値や、新規開発品のご紹介を行います。前号の「PVA 架橋剤 (その1)」と合わせてご参照下さい。

## オルガチックスの架橋性能

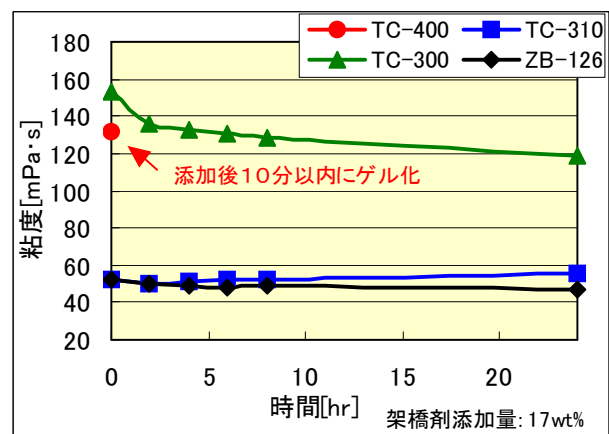
架橋剤	不溶化率 [wt%]	試験条件
オルガチックスTC-300、TC-310	60~65	PVA : 完全ケン化型 (重合度:1700) 架橋剤添加量:17wt% 乾燥温度:105℃ 不溶化率:架橋PVA膜を沸水に30分含浸させた後の重量残を%表示したもの
オルガチックスTC-400	76	
オルガチックスZB-126	10	
40wt%グリオキザール+4wt%HCl	0	
硼砂	0	
未添加	0	

他の架橋剤と比較し、オルガチックスはとても高い耐水性能を示します。

## 添加時の粘度安定性

オルガチックスを PVA 水溶液へ添加すると、商品の種類によって、粘度が変化します。

コーティング等、経時増粘を避ける用途には、**TC-310**、**ZB-126** を推奨致します。また、**TC-400** を PVA に添加すると、10 分以内にゲル物を得る事が出来ます。PVA の成形体を作る用途に最適な商品です。



## オルガチックスのセレクトについて

オルガチックス水系シリーズは、計 5 種類のラインナップがございます。様々な用途に実績がありますが、新規のご検討の際には、汎用品で安価な**オルガチックス TC-310** を第一候補として推奨しております。

## 新規開発品のご紹介 温度感応型架橋剤

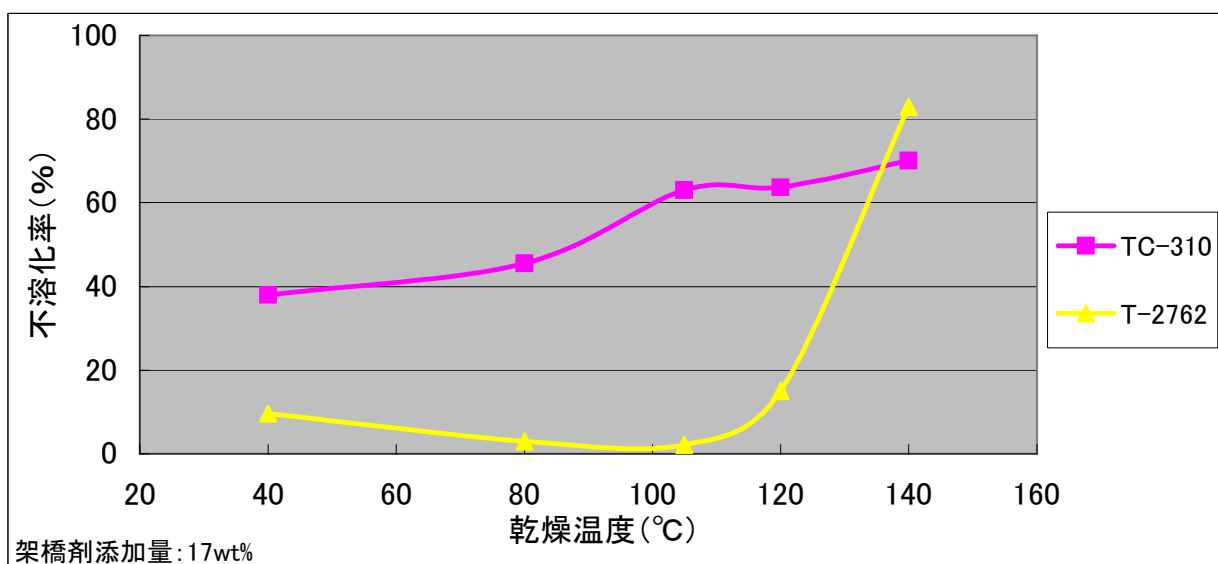
オルガチックス TC-310 は、性能のバランスが良く、色々な業界に実績がございます。しかし、用途が拡大するにつれ、お客様から架橋性やポットライフをコントロールし、より使いやすくして欲しいとの要望を受けておりました。

そこで我々は、“ポットライフが長く”、“特定の温度領域で架橋反応が始まる”製品を開発致しましたので、以下にご紹介致します。

### 特長

- ①特定の温度で架橋反応が起こります（架橋開始温度：120～140℃）。
- ②架橋開始温度未満では、高い安定性を示します。

### 乾燥温度と不溶化率のグラフ



### 新規開発品物性表

開発品名称	T-2762
組成	有機チタン系化合物
外観	淡黄色液体
有効成分濃度	65wt%
溶媒含有量	IPA: 20wt% 水: 15wt%
金属含有量	3.8wt%
PH	1以下
引火点	33°C
添加後の 粘度安定性	◎

※ T-2762 は開発品です。評価用無償サンプル（100ml）を用意しております。  
受注生産（1 バッチ 120kg）になりますので、ご使用前にマツモト交商へお問い合わせをお願い致します。

**次号発刊予定**

次号のオルガチックスレポは、「チタンオリゴマーが展く新しい世界（その1）」をお送りします。

※注意事項

本メールマガジンの著作権は、全てマツモトファインケミカル株式会社に属します。本文記事は、現時点で得られた資料やデータに基づく情報提供を目的としたものであり、いかなる記載内容も保証するものではありません。

商品のお問い合わせはこちらへ



東京本社：〒103-0023 東京都中央区  
日本橋本町 3-5-11  
TEL03-3241-5161 / FAX 03-3241-5169

メールマガジンのバックナンバーはこちらへ



<http://www.m-chem.co.jp/>